

つながる世界 つなぐ未来

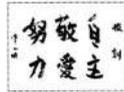
浦河だより

文字デザイン: 2A 伊丸岡 梨愛

第119号 (令和6年2月13日発行)



北海道浦河高等学校
(全日制 総合学科)



〒057-0006 浦河郡浦河町東町かしわ 1-5-1
TEL : (0146)22-3041 FAX : (0146)22-2814
URL : <http://www.urakawa.hokkaido-c.ed.jp/>
e-mail : urakawa-z0@hokkaido-c.ed.jp

社会との共創プロジェクト

大学や研究機関、企業、自治体等と連携して探究活動に取り組み、問題発見・解決能力を高めることを目的とした「社会との共創プロジェクト」では、本校の3チームが研究内容の発表を行いました。

私たちは「いちご屋で心つながる浦河町」をテーマに、町内外に夏いちごを広める活動を行いました。活動の中で大変なこともありましたが、いちご屋さんで作成した商品を販売できたときや、お客さんの喜んだ顔を見たときにこの活動をやって本当に良かったと思いました。発表会の中では各地域の特産品や特色を取り入れた他校の活動を見て、私たちの次年度の活動に活かしていきたいと思いました。

地域課題解決型

2年C組 森田 紗來



他校の発表を見て学びました



2年間の集大成を発表できました

昨年度に引き続き、日光ハイヤー様と協働してサラブレットタクシーの運営上の課題に目を向けて研究しました。活動の中で課題を知れば知るほど、私たちの予想していない問題が多く、まだまだ社会のことを知るべきだと感じました。多くの社会人の方々との関わりの中で、自分達の世界観を広げることができたことが、今回の大きな成果だと思います。発表当日は、各校が地元のお店と協働して商品開発や販売を行った取組を見て刺激的と感じたので、来年度の活動では良い部分を取り入れていきたいです。

アントレプレナー型

2年C組 佐藤 竜郎

私たちはグローバル型に参加し、浦河町に住むインド人の方との共生をテーマに研究しました。町内のインド人の方と実際にお茶会を行い、交流の中で文化や言葉の違いを知り、どうすればお互いによりよい理解ができるかを考えました。発表準備では英語が出てこなくて戸惑ったこともありましたが、ALT のルーカス先生の指導のおかげで当日は自信を持って発表できました。来年度以降もこの経験を課題研究や課外活動に活かしていきたいです。

グローバル型

1年C組 清水 咲良



当日は進行・発表・質疑の全てが英語で行われました

メタバース発表会

2月5日（月）北海道初の試みとなるNTTコミュニケーションズと北海道新聞社の共催イベント「メタバースでつながる！私の『推し』記事交流イベント」に参加しました。

本校は、インド人との共生をテーマにオンライン上でアバターを使用したプレゼンテーションを行いました。「実際のプレゼンテーションに近い形での発表ができて、今後の発表などでも使用してみたい」との声も生徒から聞かれ、充実した時間となったことが伺えました。

本校では、今後もICTを活用した教育を推進して参ります。



新たなツールでの交流で得るものがたくさんありました



浦河町役場理事者報告会

令和5年度浦河町役場理事者報告会を実施しました。本年度の学習成果について浦河町理事者（浦河町長・副町長・教育長）をはじめ、浦河町職員の方々に対して発表を行いました。本校の教育に関してより深い理解をしていただくことで、地域協働の深化の一助とすることを目的として、課題解決に向けて研究を進めた代表6グループによる発表が行われました。

来校いただいた方々からは「年々内容が深くなり、具体的な発表となっている」とご好評をいただくことができました。発表者からは後輩に引き継ぎ、「さらに研究を進めてほしい」という思いが語られました。



研究を発表する3年次生の様子



北海道高等学校総合学科学習成果発表会

1月25日（木）に札幌市で、令和5年度北海道高等学校総合学科学習成果発表会が開催されました。この発表会は、全道総合学科の代表者が一堂に会して学習の成果を交流し合い、探究活動のさらなる充実を図ることを目的にしたものです。本校からは、地域の事業承継問題をテーマに研究を続けてきた、3年次課題研究11班の辻 絢香さんが班を代表して参加しました。

「ビジネスでつなぐ、故郷（まち）の未来」をタイトルにした研究発表を行い、インタビュー調査や体験起業の内容、そこから見いだした新たな課題など、これまでの研究成果を全道の高校生に向けて報告しました。

今回の学習成果発表会での学びをしっかりと共有し、来年度の活動へと引き継ぐ予定です。

